

令和6年度特定廃棄物埋立処分事業 における福島県の取組について

令和7年3月21日
福島県生活環境部
中間貯蔵・除染対策課

1 状況確認

概要

○目的

- ◆安全協定に基づき、施設の周辺地域の安全の確保について確認
- ◆国による施設の管理・運営が適正であることを確認

○主な確認事項

- ◆作業の安全性
- ◆特定廃棄物の飛散流出防止対策
- ◆環境モニタリングの実施状況
- ◆事故時及び異常時の対応状況



埋立地上流側区画



埋立地下流側区画



処理水配管の保温材の状況
(11月21日時点)



セメント固型化処理施設
(解体中) 1

令和6年度の取組

○実施回数

- 特定廃棄物埋立処分施設：2回（5月、11月）
 - セメント固型化処理施設※：1回（7月）
- ※解体中

○結果

- ◆処理水配管の保温材が劣化していたため、速やかな補修と適切な維持管理を求めた
- ◆その他の事業は適正に行われており、施設の周辺地域の安全が確保されていることを確認

2 環境モニタリング（1）

概要 ○目的

- ◆安全協定に基づき、事業による周辺環境への影響を確認
- ◆国が実施する環境モニタリングの妥当性を確認

令和6年度の実施

○特定廃棄物埋立処分施設の調査内容

調査項目 ※()内は検体種別を記載	実施回数
●空間線量率	2回 (6月 ^{*3} 、11月)
●放射能濃度 ^{*1} (大気浮遊じん、浸出水原水、処理水、放流水、地下水、河川水、河川底質)	
●有害物質等 ^{*2} (処理水、放流水、地下水)	
●ふっ素及びほう素濃度 ^{*2} (河川水)	

*1：河川底質を除いて全て検出下限値未満

*2：基準超過なし

*3：有害物質等の調査は6月のみ実施

○結果（暫定）

- ◆これまでの結果と同程度であり、周辺環境への影響は確認されなかった（調査項目の一部は現在分析中）

2 環境モニタリング (2)

令和6年度の取組

○セメント固型化処理施設の調査内容

◆施設の解体前・解体中・解体後に実施

調査項目 ※()内は検体種別を記載	実施回数
●空間線量率 (定点サーベイ、歩行サーベイ) ●放射能濃度* ¹ (大気浮遊じん)	3回 〔 6月 (解体前) 7月 (解体中) * ² 1月 (解体後) 〕

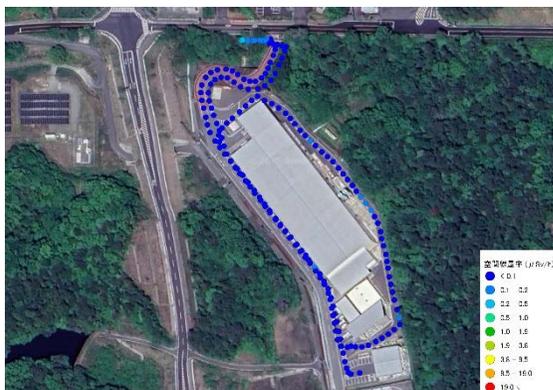
* 1 : 検出下限値未満

* 2 : 放射能濃度の調査は7月のみ実施

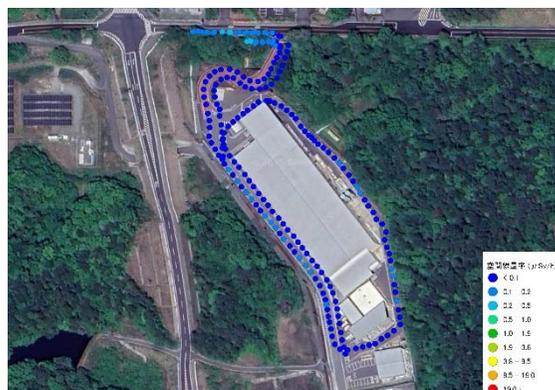
○結果

◆これまでの結果と同程度であり、周辺環境への影響は確認されなかった

歩行サーベイ結果



解体前 (6月20日)



解体中 (7月23日)



解体後 (1月23日)

空間線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)

